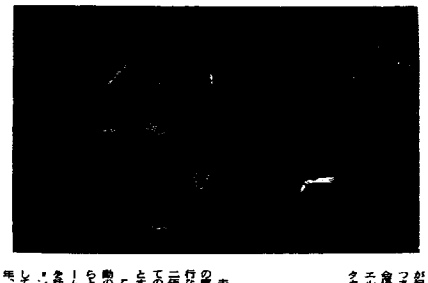
越高新聞
発行所 埼玉県立越ケ谷高校 新聞部 越谷市南4-9-2 TEL 0489-62-2788 — 1 0489-62-7295
印刷所 勝信印書 神戸市高砂8-6-9 0455-29-3535

越中屋

多かったクラス参加

創意に乏しい予餞会

二月二十二日、本校体育館において予餞会が行なわれた。今回はほとんどのクラスが参加してプログラムもりだくさんだった。しかしそれはというものがなかった。



「迷作激情」（二一四）より

予餞会は一応とり行なわれ時から始まった。

プログラムは「シンデレラ」で、「はだかの王様」では、マイクの使い方が無い者が大変でしょうがなかったけれど、会場はなかなか盛っていた。

「ロミオ」では、ロミオ役の声もかすれがちなうえに、ロミオ役の人数が多いのに、声がはっきりしていてよかった。

「ロミオ」では、ロミオ役の声もかすれがちなうえに、ロミオ役の人数が多いのに、声がはっきりしていてよかった。

「迷作激情」（二一四）より

「迷作激情」（二一四）より

「迷作激情」（二一四）より

「迷作激情」（二一四）より

論説

越高の民主主義

現代の日本は民主主義の社会である。この民主主義は、主権が国民にあるとされている。そうした民主主義について、もっと考えてみたいと思う。

民主主義は、どういうことなのだろうか。私達は、正しい少数意見を尊重しなければならないとされている。少数意見の中には、将来多数になるかもしれない意見もあるだろう。それは、民主主義とは、多数決原理だけではなく、少数意見に多数が傾きすぎる傾向があるからである。

民主主義は、どういうことなのだろうか。私達は、正しい少数意見を尊重しなければならないとされている。少数意見の中には、将来多数になるかもしれない意見もあるだろう。それは、民主主義とは、多数決原理だけではなく、少数意見に多数が傾きすぎる傾向があるからである。

それでは多数決の原理とはどういうものか。それは人が集まって、ある一定の問題について、採決をすることである。

この多数決の原理を結果の場合、多数の意見が、正しいものとして、採用されるのである。

民主主義は、多数の意見を尊重することである。

民主主義は、多数の意見を尊重することである。

民主主義は、多数の意見を尊重すること